

4/24 楽しく学び続ける場 村高齢者学級 開講式・第1回学級



大分弁で楽しく講演された講師の松本久美子氏

村高齢者学級の開講式および第1回学級が久木野総合センターで行われ、60歳以上の村内老人クラブ会員200人が参加しました。

開講式に続いて行われた第1回学級では、大分県別府市から松本久美子氏（このの葉クローバー代表、フリーアナウンサー）が講師に招かれ、「言葉は心の食材～福ことば・毒ことば・置きことば～」と題して、コミュニケーションや言葉の大切さについての講演がありました。会場は絶えず笑い声が響いていました。

5/10 田んぼに子どもたちの笑い声 中松小学校 泥リンピック



泥だらけになりながら田んぼに肥料をまく児童たち

中松小学校5・6年生たちが、同校近くの田んぼで泥リンピックを行いました。

田植え前のしろかきとして毎年恒例で行われており、鬼ごっこや馬跳びなどをして走り回った後に、児童たちは丁寧に肥料をまきました。

学校に戻り、温泉で泥の汚れを落としている最中も笑い声が絶えず、「田んぼの中に入って泳いだのが楽しかったです」と、児童たちは毎年泥リンピックを楽しみにしているようでした。

4/15 村民が親しむ楽曲に 復興支援として楽曲を贈呈（三宅光幸氏）



楽曲を贈呈されたビートニックス株式会社代表 三宅光幸氏（右）

この度、ビートニックス株式会社代表 三宅光幸氏（作曲家：ミヒマルGT）から村へ、震災復興支援として楽曲の目録贈呈がありました。

楽曲はこれから制作されますが、村では今回贈呈される楽曲を基に、子どもから高齢者まで誰もが気軽に踊ることができる「村民音頭」の制作をすすめていく予定です。

4/28 土砂災害防止の願いも込めて 楓（ふう）の木 植樹式



一本ずつ丁寧に植樹された楓の木

東急ゴルフ場の敷地内にて、喜多北小倉造林組合による「楓（ふう）の木」の植樹式が行われました。

当日は同造林組合、東急ゴルフ場、喜多地区住民、農政課、東海大学農学部の教授や生徒など31人が参加。約30本の苗木が植えられました。

楓の木は台湾から中国南部原産で江戸時代に日本に渡来したとされ、根がしっかりと生えるため、土砂災害防止としての願いも込めて植えられました。

今後この楓の木は、東海大学農学部で根の調査を実施していく予定です。